

XXXのシミュレーションに関する研究発表

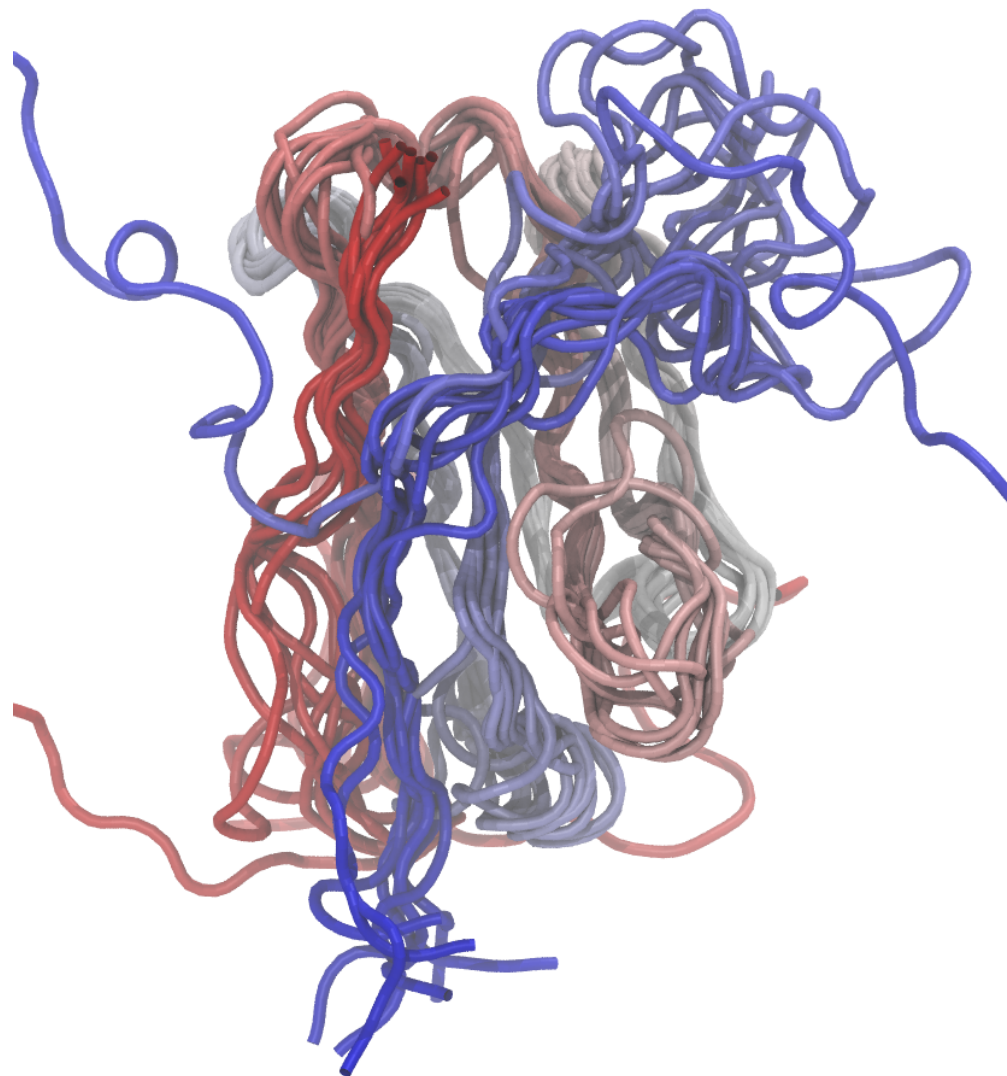
松永康佑

埼玉大学工学部情報工学科

2023/01/01

背景

- **XX**は重要である。
- しかし**XX**という問題がある。
- これを解決するためにXXを行う。



目的

- XXを解決するために、YYを行う。

新規性

- ZZが新規性がある。

方法

Inline math

Render inline math such as $ax^2 + bc + c$.

Block math

$$I_{xx} = \int \int_R y^2 f(x, y) \cdot dy dx$$

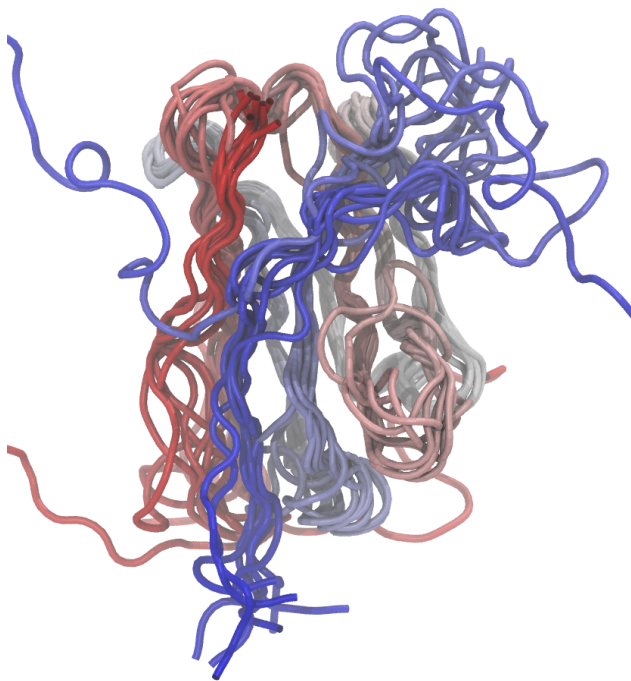
$$f(x) = \int_{-\infty}^{\infty} \hat{f}(\xi) e^{2\pi i \xi x} d\xi$$

シミュレーション結果

 autoplay loop muted

この結果をみるとYYが見えており、**これは重要**であり。

解析結果



これはXXXであると解釈できる。

まとめ

- テスト

付録

付録の図